

糖尿病透析患者における週 1 回 DPP-4 阻害薬オマリグリプチン(OMG)

の有用性 - 皮下連続式グルコース測定による検討

長崎腎病院

○船越 哲 渡辺ゆかり 小峯麻耶 矢野未来 江藤りか 一ノ瀬 浩
佐々木 修 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司

【目的】

血液透析患者において半減期の異なる 2 種類の DPP-4 阻害薬、OMG と TNG の血糖変動に対する効果をクロスオーバー試験にて比較する。

【対象・方法】

TNG40mg を連日内服している 5 例について、併用薬剤は一定のまま、OMG12.5mg の週 1 回投与に変更し、4 週間後に TNG40mg に戻し、各薬剤での 5 日連続の皮下連続式グルコース測定 (CGM) を比較した。また、OMG は曜日を決めて透析後にスタッフが内服を確認する方法とした。

【結果】

CGM で測定した平均血糖変動幅は、クロスオーバー試験で有意差がなかった。OMG は週 1 回透析スタッフにより投与することで服薬コンプライアンスは 100%となった。

【考案】

OMG 週 1 回投与は TNG 連日投与に比べ、血糖変動のコントロール効果は同等であり、糖尿病透析患者において有用な治療法のひとつと考えられる。